

# 石小っ子のくらし方

◎子どもの立場で、表現します（※は「特に気を付けること」、★は「やってほしい！プラス・ワン」を表します）。

## 学校生活の前に

### 目指す姿：学習に集中できるように学用品を準備する

- 1 学校に持ってくる物については、次のことに気を付けて準備します。
  - (1) ふでばこは、落としてもこわれにくい物を選びます。
  - (2) えんぴつは、学習に集中できるような物を選び、けずった物を用意します。
  - (3) 消しゴムは、白い色でよく消える物を使います。
  - (4) 定規は、線を引いたり、長さを測ったりするため15cmまでの長さの物にします。
  - (5) 赤えんぴつ（赤ペン）と青えんぴつ（青ペン）もそろえます。  
※赤ペンと青ペンは、一本ずつになっていて、キャップが付いている物が便利です。ノック式のペンをカチカチ鳴らす音が、授業中の集中をさまたげることがあります。  
※低学年は、赤えんぴつと青えんぴつを使いますが、3年生以上は、赤ペンと青ペンを使ってもよいです。
  - (6) 下じきは、自分も相手も学習に集中することができる物にします。

## 朝起きたら

### 目指す姿：学校に行くための身じたくと用意を、自分でする

- 1 登校する1時間前をめやすに、起きます。
- 2 朝ごはんをしっかり食べて、授業に集中できるようにします。
- 3 歯をみがき、顔を洗って、身じたくをします。鏡を見て、自分の健康を確かめます。  
※石巻小学校では、天気の良い日は毎日、業間マラソンや縄跳びを行います。運動に適した服を着て、動きやすい靴をはくようにします。  
※ヘアピンなどは、友達とぶつかってけがをすることが考えられます。安全な物を選びます。
- 4 名札、ハンカチ、ティッシュを用意します。
- 5 元気な声で「行って来ます」と言って、家を出ます。

## 登校

### 目指す姿：危険なことから身を守り、安全に登校する

- 1 交通ルールを守って、決められた通学路を歩きます。  
※給食車が入る側（西校舎裏）の道路は、交通量が多く危険なので歩けません。  
※正門前や裏門付近の道路で、車の乗り降りをしません。
- 2 登校中の名札は、他人に名前を覚えられないように裏向きにします。
- 3 ランドセルに学習用具を入れて登校します。  
◆学習に関係のない物は、学校に持ってきません◆  
※ランドセルには、防犯ブザーとお守りだけを付けます。  
→防犯ブザーは身を守るためのものです。キーホルダーやマスコットは付けません。  
※ランドセル以外の軽装で登校するよう先生から指示があった場合には、リュックなどを着用し、両手が使えるようにします。  
※携帯電話やスマートフォンは持ってきません。  
※学校に持ってくる水筒には、水かお茶を入れます。
- 4 友達や地域の方々に、自分から元気よくあいさつをします。  
★相手のことを思いやる一言を付け足してみましょう。  
（花のお世話をしている人に・・・「お花、きれいですね。」「私、チューリップが大好きです。」など）

## 業前

### 目指す姿：みんなが気持ちよく1日を始めるための準備をする

- 1 くつはきちんとそろえて、靴箱に入れます。  
※低学年の上ぐつは、白を基調としたバレースューズをはくことを基本とします。中学年以上から、決められたひもぐつをはきます。
- 2 名札を表向きにします。友達は大切な人なので、名前に「さん」を付けます。
- 3 お会いした先生方や友達に、元気よくあいさつをします。  
★名前を呼んで、あいさつしましょう（「〇〇さん、おはよう。」、「□□先生、おはようございます。」）。
- 4 教室に来たら、帽子や防寒着を脱ぎます。（防寒着や帽子は朝会などの集会活動でも着用しません。）
- 5 ランドセルから学習用具を出して、机の中やロッカーにそろえて入れます。
- 6 「石小っ子カード」や宿題、自主勉強帳などは、学級で決められた場所に置きます。  
※集金などのお金は、机のなどに出したままにしないで、先生が来てから直接渡します。
- 7 日直や係、委員会活動などの仕事をします。
- 8 朝の放送が流れたら、教室に入り、業前時間の活動の準備をします。  
※「ひとりであそぶ」で読む本を用意したり、たてわり活動などで移動したりするなど準備をします。

## 朝の会

目指す姿：心を落ち着け、1日の見通しをもつ

- 1 校訓五箇条を唱和します。
- 2 1日の授業の予定を確認します。  
※「どこで」「どんな持ち物で」授業するのかを、しっかりと聞きます。
- 3 黙想（2分間）をします。1日の学習に向けて、心を落ち着けます。
- 4 健康の様子を、先生にくわしく伝えます（×：「かぜです」 ○：「はな水とせきが出ます」）
- 5 忘れ物があるときは、自分から素直に言います。  
※「いつまでに提出するか」を先生と約束します。

## 休み時間

目指す姿：心と体をリフレッシュし、次の授業の準備をする

- 1 ろう下や特別教室など、みんなで使う場所の約束やマナーを守って使います。
  - (1) 特別教室に授業以外で入るときは、その前に、先生に理由を説明します。
  - (2) ろう下は静かに右側を歩きます。
  - (3) トイレや流し場は、きれいに使います。トイレの戸を静かに開け閉めします。
  - (4) 使った場所は、次に使う人のことを考えて片付けます。
- 2 5分休みの過ごし方
  - (1) 次の授業の準備をしてから、トイレに行ったり、水を飲んだりします。
  - (2) 特別教室で授業をするときには、ろう下に整列し、移動します。
  - (3) 時間になったら学習をすぐに始められるように、1分前には席に着きます。
- 3 業間休みの過ごし方
  - (1) 晴れた日には、「げんきよくたいむ」で体力づくりをします。  
※校庭が使用できないとき（業間マラソンや縄跳びができないとき）には、教室で静かに過ごします。  
※熱中症対策として、保健室の廊下の温度計が28℃以上のときは、業間マラソンや外遊びはしません。
  - (2) 友達と遊ぶときには、乱暴な言葉や人が嫌がることを言わないで、仲良く遊びます。
  - (3) 5分前（10時35分）には、手洗い・うがいをし、トイレに行き、いすに座って静かに待ちます。
  - (4) 使ったボールや縄跳びは教室へ持ち帰り、竹馬や一輪車は元の場所に片付けます。
- 4 昼休みの過ごし方
  - (1) 図書室で本を借ります。  
※図書室に行くとき、資料室を通ってはいけません。東階段から行きます。
  - (2) 5分前には、手洗い・うがいをし、トイレに行き、いすに座って静かに待ちます。
  - (3) 使ったボールや縄跳びはきれいにして教室へ持ち帰り、竹馬や一輪車は元の場所に片付けます。
- 5 校庭の使い方
  - (1) 野球のバットやテニスのラケットなどを使った遊びはしません。
  - (2) 遊具は正しい使い方です。ジャングルジムなど遊具の近くでのドッジボールや鬼ごっこはしません。
  - (3) 職員室から見えない所で遊ぶようにします。プールの裏や体育館の裏などには行きません。
  - (4) 業間休みと昼休みにボールを蹴る遊びを行うときは、サッカーゴールを使い、ゴールの周りだけで遊びます。
  - (5) 室内で過ごすときに使う物は、学校にある物で遊びます。

## 給食

目指す姿：好き嫌いせず、おいしく、楽しく食べる

- 1 準備（12時15分～12時30分）
  - (1) 低学年は、が給食着・マスクを身に付けます。手を洗います。中学年以上は、給食当番が給食着・マスクを身に付けます。全員が手を洗います。  
※インフルエンザなどが流行する季節は消毒をします。消毒は、手が荒れやすい人や痛くなる人はむりをしなくてもよいです。そのときは、しっかりと手洗いをします。
  - (2) 給食当番確認表で当番の日を確かめます。つめは、長くならないように切っておきます。
  - (3) 給食当番は、すばやく準備ができるように協力します。
  - (4) 給食を受け取る人は、手洗いをした後、黙想をして、配膳の準備ができるまで静かに待ちます。
  - (5) 配膳のとき、給食を受け取る人・給食当番は、静かにします。  
※給食当番は、全員に同じ量で配膳します。  
※食物アレルギーの人は、食べられないものを給食当番に伝え、食べないようにします。
  - (6) 給食を受け取ったら、自分の机に戻り、皿やおわん、はしを正しく並べて待ちます。
- 2 食事の時間（12時30分～12時50分）
  - (1) 日直が「食事のあいさつ」カードから、曜日ごとのあいさつを言うので、全員で唱和します。続けて「いただきます」を言います。
  - (2) 屋の放送の時間帯（12時30分～40分）は立ち歩かず、放送を聴きながら静かに食べます。  
※配膳された食べ物は、「いただきます」の意味を考えながら、残さず食べるように努力します。
  - (3) 食事のマナーを心がけて食べます。給食のときにふさわしい話題で、友達との会話をします。
  - (4) 屋の放送が終わったら、おかわりをします。
- 3 片付け・歯みがき（12時50分～13時00分）
  - (1) 給食当番は、給食着・マスクを身に付けて片付けをします。

- (2) 給食を片付けた人から、歯みがきをします。
- 4 お弁当の日は、栄養のバランスを考えてお弁当を食べます。
- (1) お弁当は、主食・おかず・果物・飲み物（水・お茶）だけを持ってくるようにします。
- (2) 自分が食べられる分の量を持ってきます。友達と分け合うことはしません。
- (3) 作ってくださった方への感謝の気持ちを忘れずに、残さないで食べるようにします。

### そうじ

目指す姿：友達と協力して、学校をきれいにする

- 1 三角巾（バンダナ）、マスクを着け、役割を確かめてから、そうじを始めます。  
※そうじが早く終わったら、きれいになっていない所を探したり、そうじロッカーの点検をしたりします。  
★そうじの基本は、「上から下へ」「前から後ろへ」「すみから中心へ」の順です。
- 2 使ったぞうきんは、しっかりと洗い、しぼります。
- 3 そうじが終わったら、担当の先生といっしょに反省会をします。  
【例】先生「ご苦労様でした」→子「お疲れ様でした」

### 帰りの会

目指す姿：心を落ち着け、1日の学校生活をふり返り、明日の見通しをもつ

- 1 配られたお便りなどは、プリントの角を合わせてきれいに折ります。そして、ファイルに入れて持ち帰ります。
- 2 明日の予定・時間割を聞きます。忘れないようにメモをとります。
- 3 黙想（2分間）をします。心を落ち着け、1日の学校生活を振り返ります。  
※帽子や防寒着は、帰りのあいさつを終えてから着るようにします。

### 放課後

目指す姿：時間を守って、安全に行動する

- 1 先生がいないときは、教室に残ることはできません（校庭で遊ぶことはよい）。先生がいる場合でも、許可がないと教室に残れません。
- 2 下校時刻を知らせる放送があったら、片付けをします。  
※2月から9月は4時15分（平成30年4月から）、10月から1月は4時00分が下校時刻です。
- 3 「完全下校」のときには、教室や校庭に残らず帰ります。

### 下校

目指す姿：危険なことから身を守り、安全に下校する

- 1 名札を裏返しにし、交通ルールを守り、決められた通学路を歩きます。  
※近所の友達（同じ学年でなくても）と、できるだけ一人で帰らないようにします。
- 2 友達や地域の方々に、自分から進んで元気よくあいさつをします。

### 帰宅したら

目指す姿：家族といっしょに、1日をふり返り、明日の準備をする

- 1 家に着いたら（だれもいなくても）、「ただいま」と大きな声であいさつをします。
- 2 手洗い、うがいをします。
- 3 学校からのお便りなどを、おうちの人に必ず見せます。
- 4 「石小っ子カード」をもとに、本読み、宿題、自主学習に取り組めます。
- 5 テレビやビデオを見る時間や、テレビゲームをする時間はおうちの人と決めて、守るようにします。
- 6 毎日、進んで手伝いをします。
- 7 1日の学校の様子をおうちの人に話します。
- 8 寝る前までに、明日の予定を確かめておきます。
- 9 「石小っ子カード」で決めた寝る時刻、起きる時刻を守り、早寝・早起きを心掛けます。

### 休みの日は

目指す姿：きまりを守り、健康で安全な暮らしをする

- 1 きまりを守って生活をします。
- (1) 「早寝・早起き・朝ごはん」を守って生活をします。1日に9時間から10時間は眠るようにします。
- (2) テレビを見たりゲームをしたりする時間は、おうちの人と話し合って時間を守って行います。
- (3) 出かけるときは「どこへ」「だれと」「何をしに」「いつ帰るか」をおうちの人に話して出かけます。
- (4) 友達のおうちに行くときは、朝早くに行かないようにしてめいわくにならないようにします。
- (5) 出かけるときには、お金をあまり持たないようにします。
- (6) お昼ごはんや夕ごはんは、おうちで食べるようにします。
- (7) 友達同士で物やお金の貸し借りをしないようにします。
- (8) 大人と一緒に行動していないときは、5時までに家に入るようにします。  
冬休み中は、4時までに家に帰るようにします。

## 2 健康で安全な暮らしをします。

- (1) 歩くときは、車などの様子をいつも確認し、交通ルールを守ります。
- (2) 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶり、安全に停まることができる速さで乗ります。

※1年生と2年生は、必ず大人の人と一緒に自転車に乗るようにします。

- (3) 学区外には子どもだけでは行きません。
- (4) スーパーマーケットやコンビニエンスストアには、買い物の用事があるときだけ入ります。
- (5) 子どもだけでゲームセンターやゲームコーナーへ立ち入りません。

※ゲームセンターやゲームコーナーは、お金を使いすぎてしまうことがあります。決められた金額や時間を守り、大人の人と一緒に行動します。午後6時以降は、保護者の方が一緒でも立ち入らないようにします。

- (6) 出かけるときは防犯ブザーを持ちます。一人歩きをせず、知らない人にはついていかないようにします。
- (7) おうちの人がいなくて津波警報などがあったときの避難について、確認しておきます。

- 3 三つのすずんで運動(あいさつ・はたらく・あとしまつ)に取り組めます。

- (1) 明るく、いつも、先にあいさつをします。

★家族やお客様、地域の方、友達のおうちの方など、大人の人へ自分からあいさつをしましょう。

- (2) 毎日の自分の仕事を決めて、家族のために進んで手伝いをします。
- (3) 自分が使った物をきれいに片付けます。

★使った場所は次に使う人のことを考えて、使う前よりもきれいにしましょう。

\*\*\*\*\*

### ◎不審者対策「イカのおすし」について

★知らない人について「イカ」ない。

★車に「カ」らない。

★「お」おきな声で助けを呼ぶ。

★「す」ぐに逃げる。

★何かあったら大人に「カ」らせる。

\*\*\*\*\*

昭和48年、『石巻小学校／百年のあゆみ』によると、「児童憲章」が制定されるとともに、戦後の教育改革において民主教育が提唱され、児童の自発的、自治的な活動を主体とした児童会が誕生しました。本校でもいち早く「わかば会」が組織されました。

そして、昭和26年には、「わかばの子のやくそく」「わかば会の歌」「わかば会旗」ができました。

「児童憲章」(制定日／昭和26年5月5日)

われらは、日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるためにこの憲章を定める。

一、児童は人として尊ばれる。

一、児童は社会の一員として重んぜられる。

一、児童はよい環境のなかで育てられる。

「わかばの子のやくそく」(昭和26年制定)

- わかばの子どもは
- 1 がまん強いじけません。きまりを守って規則正しくくらしします。
  - 2 いつもほがらかです。礼儀正しく、あいさつを忘れません。
  - 3 なんでも「なぜ？」と考えます。途中であきらめません。
  - 4 つまらないことでも見のがしません。みんなの力で解決していきます。
  - 5 あと始末を忘れません。いつも掃除をりっぱにします。
  - 6 ことばきれいです。小さい人にもいばったりしないでやさしく話します。
  - 7 責任を重んじます。みんなのために働く尊さを知り、よいことは進んで実行します。
  - 8 人に迷わくをかけません。時間を守ってくらしの計画や工夫は進んでします。
  - 9 物を大切にします。みんなの物はていねいに使います。
  - 10 なかよしです。いつも身なりを整えて、きれいな教室で勉強をします。
  - 11 あらそいません。みんなが親切にあたたかく助け合ってくらしします。
  - 12 「しかたない」はいけません。正しいことはどしどし実行する勇気を持ちます。

\*\*\*\*\*

6年生の修学旅行において、見学場所になっている野口英世記念館には、野口英世の生家や展示室があります。

また、記念碑があり、母校の小学校で講演したときに、子どもたちに残した言葉もあります。野口博士からのメッセージは、「目的・正直・忍耐」でした。講演の内容は分かりませんが、この3つの言葉は、みなさんが充実した学校生活を送り、健やかに成長していくためにとても大切な言葉です。

「目的」とは「成し遂げようと目指す事柄」、あるいは「行為の目指すところ」です。人は目的があるから、具体的に行動します。学校に来ると、【校訓五箇条】を唱和するのは、なんのためでしょうか。掃除をしたり、業間マラソンをしたり、たてわり班で活動したりするのはなんのためでしょうか。つまり、目的を考えると、活動への取り組み方が違ってきます。

次に、「正直」とは「心が正しくすなおなこと」、あるいは「かげひなたのないこと」です。先生や友達の話素直に聞くことは、自分にはないたくさんの宝物を手にとともに、相手にとってもよい印象を与えます。昔話でも、最後に幸せになれるのは、正直なおじいさんやおばあさんです。

最後に、「忍耐」とは「こらえること」あるいは「たえしのぶこと」です。本校の【校訓五箇条】の中にも「よくこらえよ」があります。昔も今も、我慢したり、わがまををしたりしないことは、集団生活を送る上で大切なことです。

\*\*\*\*\*



【家庭でも意識しながら生活してほしいこと】

【校訓五箇条】

- 一、げんきよくせよ（心身共に健康であること）
- 一、まじめにせよ（勤勉であり、誠実であること）
- 一、ひとりでせよ（自主的・自律的であること）
- 一、よくこらえよ（忍耐強くあること）
- 一、しかとおぼえよ（学業に打ち込むこと）



\*\*\*\*\*

① 毎日朝食をとる子ども  
ほど、ペーパーテストの  
得点が高い傾向がありま  
す。

② お手伝いをする子どもほ  
ど、道徳観・正義感が身に  
付いている傾向があります

③ よく寝る子どもほど、体  
力テストの結果がよい傾向  
があります。

\*\*\*\*\*  
※平成31年度から、中部地区校長会（石巻小学校・山下小学校・貞山小学校・中里小学校・石巻中学校・山下中学校）  
に所属する小学校4校と中学校2校は、以下の背景に基づき、目的を共有し、それぞれの学校の実態に応じて、「メ  
ディアコントロールDay」を実施することになりました。

【「メディアコントロールDay」の実施について】

1 背景

平成30年度全国学力・学習状況調査において、放課後や週末の過ごし方として最も多くの割合で回答したもの  
「テレビ視聴、ゲーム、インターネット等」であり、石巻市の小・中学生とも7割を超えています。相対的に、平  
日、一定時間勉強する（小学生1時間、中学生2時間）割合は、全国を下回っています。

- (1) SNSやライン等に係るトラブルが石巻地区においても発生しており、情報モラルに関する意識の啓発は、喫緊  
の課題となっています。
- (2) スマートフォンやインターネットは、私たちの生活に溶け込んでおり、それゆえに適切に使用できる賢い利用者  
に子どもを育てなければなりません。

2 目的

スマートフォンやインターネット、テレビゲーム等に触れる機会を意図的になくしたり、必要最小限に止めたり  
する日を設けることにより、

- (1) 家族との触れ合いや読書、家庭学習の時間を充実させます。
- (2) 日常の情報メディアやゲームに関わる生活を振り返ることで、適切な使用について考えたり、話し合ったりする  
機会とします。

3 「メディアコントロールDayとする日」 毎月「5」のつく日（5日、15日、25日）

4 「メディアコントロールDay」の取組について

- (1) 4月の初旬に、「メディアコントロールDay（5のつく日）」の約束と家族でスマートフォンやインターネッ  
ト、テレビゲーム等の使い方に関わる決まりを話し合っていたためのカードを配布します。
- (2) 各家庭において、日常的にメディアを使うときの決まりを決めていただき、守らせてください。
- (3) 「メディアコントロールDay（5のつく日）」は、学校から伝えている約束をお子様が守ることができているか  
を見ていただき、石小っ子カードにチェックしてください。なお、気になることや学校に伝えたいことがあると  
きは、石小っ子カードの保護者印のところに書きください。学校での指導に生かしていきます。
- (4) 「メディアコントロールDay」の目的は、メディアとの付き合い方を考えると共に、家族との触れ合いや読書、  
家庭学習を充実させることにあります。ぜひ、学校での出来事を話題にしていだいたり、お子様の読書や家庭  
学習の様子を確認していただいたりする時間にしてください。

◎「メディアコントロールDay」の約束

- ① テレビやDVD、インターネット、テレビゲームをする時間は、合わせて1時間以内にします。
- ② 夜8時をすぎたら、テレビやDVD、インターネット、テレビゲームを見ないようにします。
- ③ いつもメディアを見ている時間を、家族との触れ合いや会話、読書をする時間にします。

メディアコントロールDay（毎月 5日 15日 25日）よくできた：◎ できた○ もう少し：△

| 日  | 曜日 | 1時間以内 | 夜8時まで | 読書や家族との会話・触れ合い | おうちの約束 | 保護者印<br><small>ほごしゅいん<br/>8時までを意図で<br/>きるように声を掛<br/>けていきます。</small> | 担任印<br><small>たんしんいん</small> |
|----|----|-------|-------|----------------|--------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 5  |    | ◎     | △     | ○              | ◎      |                                                                     |                              |
| 15 |    |       |       |                |        |                                                                     |                              |
| 25 |    |       |       |                |        |                                                                     |                              |

## 保護者の皆様へ ～子どもたちが、家庭学習によりよく取り組むために～

「自ら学ぶ力」を、子どものころから大切に育て、将来、社会に貢献する大人として活躍するために身に付けさせた資質・能力の一つだと考えています。「自ら学ぶ力」を育てるために、学校と家庭が連携し、子どもたちの家庭学習の充実を図りたいと考えています。

そこで、保護者の皆様には、次の点についてご理解とご協力をよろしくお願いします

### お願い

### お子さんの学習に対する興味・関心を受け止め、励ましてください

#### 1 子どもの学習の様子を見てください。

- (1) 家庭学習に取り組んでいる様子を、実際に見てください（毎日がよいのですが、休みの日だけでもよいです）。
- (2) 学習した内容を把握してください（学校で使っているノート、宿題プリントや自主学習ノート）。  
※学校から持ち帰った作品は、おうちで飾ってください。特に、家族みんなが見えるところの方がよいです。
- (3) やったこと、できたことを認め、たくさん褒めてください。

#### 2 学習環境を整えてください。

- (1) お子さんと一緒に、1日の中のどの時間帯に家庭学習をするのかを話し合ってください。
- (2) テレビやゲームのスイッチを切り、集中して学習できる環境を整えてください。
- (3) まずは、おうちの方の目の届く場所で、取り組ませてください（取り組み方を褒めるために）。  
一人でもできるようになってきたら、自分の部屋などで取り組ませるようにしましょう。 時間を大切に！

#### 3 担任（学校）と連絡を取り合しましょう。

- (1) 分からないこと、困ったこと、心配なことなど、小さなことでも学級担任に相談してください。  
「石小っ子カード」を活用してください。
- (2) 「石小っ子カード」には、家庭学習の取組を確認してから、お子さんに渡してください。  
※保護者の方の確認は、保護者の方が押印をお願いします。また、お時間がありましたら、家庭学習の取組の様子や学校生活について家庭で話題になったことについてのコメントをお願いします。
- (3) 「石小っ子カード」に書かれた担任からの連絡にも、ぜひ目を通してください。

#### 4 その他

- (1) 学習の際の座り方や鉛筆の持ち方についても、気を付けさせてください。
- (2) お便りを、保護者の方にすぐ見せるよう、学校で指導しています。習慣化させてください。

### 声かけのポイント

### お子さんの成長にあった関わり方を心掛けてください

#### 1 低学年への声かけ

低学年の子どもは、「何でもやれるよ。できるよ。」と言うことがよくありますが、実際には、なかなか一人でやることは難しいものです。したがって、おうちの人の協力は欠かせません。やる気を失わない温かい励ましで、次へのやる気を育てましょう。

#### 【ポイント】

- ・おうちのひとと楽しく学習する体験をさせましょう。
- ・できるだけ、短い時間に区切って学習させましょう。

#### 2 中学年への声かけ

中学年になると、何とか自分で決めて行動しようとする気持ちが芽生えます。一方で、なかなか自分への甘えを克服できない時期もあります。そこで、子どもの葛藤を知り、温かく見守ったり、ちょっと手助けしたりするなど、おうちの方の心の余裕が必要です。

#### 【ポイント】

- ・自力で取り組もうとする姿勢を、積極的に励ましましょう

1 歩ずつ着実に！

#### 3 高学年への声かけ

高学年になると、学習に対して、自分なりの見方・考え方をもち始めます。思春期を迎えようとしている子どもたちだけに、自尊心も一層強くなります。ですから、自分なりに選択したり、工夫したりしていることを大いに認めて、意欲的に取り組めるようにしましょう。

#### 【ポイント】

- ・自分の学習目標を具体的に設定させましょう。
- ・自分のペースで、じっくりと取り組ませましょう。

**★「自ら学ぶ力」を育てることは、約束を守ること、自分で決めたことをやり通す力を育てることにつながります。「継続は、力なり」です。**